

令和2年3月1日以降 積算基準日の工事から適用

N 暗渠排水工

土地改良事業等適用標準歩掛
(平成17年9月29日付け事調第592号農政部長通知)の一部改正

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																												
<p>N～1000 トレンチャ掘削</p> <p>1 適用範囲 本資料は、トレンチャによる平均掘削深0.6～1.2mの暗渠排水溝掘削作業に適用する。 掘削深1.5mを超える場合は適用できない。 【省略】</p> <p>4 施工歩掛 暗渠排水溝掘削歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4-1 暗渠排水溝掘削歩掛 (100m当り)</p> <table border="1" data-bbox="172 674 1326 877"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>作業条件</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">トレンチャ 運 転</td> <td rowspan="2">自走式・普通型 クローラ 46kW 最大掘削深 1.5m</td> <td rowspan="2">h</td> <td>標準</td> <td style="color: red;">0.76</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>障害あり</td> <td style="color: red;">0.99</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">バックハウ 運 転</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型（第2次基準値） （暗渠排水溝掘削用バケット付） クローラ型 山積 0.45 m³（平積 0.35 m³）</td> <td rowspan="2">"</td> <td>標準</td> <td style="color: red;">0.17</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>障害あり</td> <td style="color: red;">0.22</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 障害ありとは、過湿等により地盤状態が悪い又は、転石混じり・固い地盤等により連続した作業が期待できない場合である。岩塊・玉石・埋木等で掘削作業ができない場合又は、断面確保ができない場合は機種変更を考慮すること。</p> <p>(注2) 標準速度 100m ÷ 0.76 = 131.6m / h。</p> <p>【省略】</p>	名 称	規 格	単 位	作業条件	数 量	摘 要	トレンチャ 運 転	自走式・普通型 クローラ 46kW 最大掘削深 1.5m	h	標準	0.76		障害あり	0.99	バックハウ 運 転	排出ガス対策型（第2次基準値） （暗渠排水溝掘削用バケット付） クローラ型 山積 0.45 m ³ （平積 0.35 m ³ ）	"	標準	0.17		障害あり	0.22	<p>N～1000 トレンチャ掘削</p> <p>1 適用範囲 本資料は、トレンチャによる平均掘削深0.6～1.2mの暗渠排水溝掘削作業に適用する。 掘削深1.5mを超える場合は適用できない。 【省略】</p> <p>4 施工歩掛 暗渠排水溝掘削歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4-1 暗渠排水溝掘削歩掛 (100m当り)</p> <table border="1" data-bbox="1430 674 2585 877"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>作業条件</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">トレンチャ 運 転</td> <td rowspan="2">自走式・普通型 クローラ 46kW 最大掘削深 1.5m</td> <td rowspan="2">h</td> <td>標準</td> <td style="color: red;">0.70</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>障害あり</td> <td style="color: red;">0.91</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">バックハウ 運 転</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型（第2次基準値） （暗渠排水溝掘削用バケット付） クローラ型 山積 0.45 m³（平積 0.35 m³）</td> <td rowspan="2">"</td> <td>標準</td> <td style="color: red;">0.14</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>障害あり</td> <td style="color: red;">0.18</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 障害ありとは、過湿等により地盤状態が悪い又は、転石混じり・固い地盤等により連続した作業が期待できない場合である。岩塊・玉石・埋木等で掘削作業ができない場合又は、断面確保ができない場合は機種変更を考慮すること。</p> <p>(注2) 標準速度 100m ÷ 0.7 = 142.9m / h。</p> <p>【省略】</p>	名 称	規 格	単 位	作業条件	数 量	摘 要	トレンチャ 運 転	自走式・普通型 クローラ 46kW 最大掘削深 1.5m	h	標準	0.70		障害あり	0.91	バックハウ 運 転	排出ガス対策型（第2次基準値） （暗渠排水溝掘削用バケット付） クローラ型 山積 0.45 m ³ （平積 0.35 m ³ ）	"	標準	0.14		障害あり	0.18	<p>表内、数値の改正</p> <p>数値の改正</p>
名 称	規 格	単 位	作業条件	数 量	摘 要																																									
トレンチャ 運 転	自走式・普通型 クローラ 46kW 最大掘削深 1.5m	h	標準	0.76																																										
			障害あり	0.99																																										
バックハウ 運 転	排出ガス対策型（第2次基準値） （暗渠排水溝掘削用バケット付） クローラ型 山積 0.45 m ³ （平積 0.35 m ³ ）	"	標準	0.17																																										
			障害あり	0.22																																										
名 称	規 格	単 位	作業条件	数 量	摘 要																																									
トレンチャ 運 転	自走式・普通型 クローラ 46kW 最大掘削深 1.5m	h	標準	0.70																																										
			障害あり	0.91																																										
バックハウ 運 転	排出ガス対策型（第2次基準値） （暗渠排水溝掘削用バケット付） クローラ型 山積 0.45 m ³ （平積 0.35 m ³ ）	"	標準	0.14																																										
			障害あり	0.18																																										

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																																				
<p>N～1010 バックホウ掘削</p> <p>1 適用範囲 本資料は、以下の範囲のバックホウによる暗渠排水溝掘削作業に適用する。 従来型バケットの場合：平均掘削深 0.6～1.5m スリム型バケットの場合：平均掘削深 0.6～1.3m 掘削深 1.5mを超える場合は適用できない。 【省略】</p> <p>4 施工歩掛 暗渠排水溝掘削歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4-1 暗渠排水溝掘削歩掛 (100m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">バケット区分</th> <th colspan="2">従来型</th> <th colspan="2">スリム型</th> </tr> <tr> <th colspan="4">平均掘削深 (m)</th> <th>0.6～</th> <th>1.2～</th> <th>0.6～</th> <th>1.2～</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>作 業 条 件</th> <th>1.1</th> <th>1.5</th> <th>1.1</th> <th>1.3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">バックホウ 運 転</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第2次基準値) (暗渠排水溝掘削用バケット付) クローラ型 山積0.45 m³(平積0.35 m³)</td> <td rowspan="2">h</td> <td>標 準</td> <td style="color: red;">1.28</td> <td style="color: red;">1.54</td> <td style="color: red;">1.67</td> <td style="color: red;">2.00</td> </tr> <tr> <td>障害あり</td> <td style="color: red;">1.66</td> <td style="color: red;">1.99</td> <td style="color: red;">2.17</td> <td style="color: red;">2.60</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">普通作業員</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">人</td> <td>標 準</td> <td style="color: red;">0.18</td> <td style="color: red;">0.22</td> <td style="color: red;">0.19</td> <td style="color: red;">0.23</td> </tr> <tr> <td>障害あり</td> <td style="color: red;">0.23</td> <td style="color: red;">0.28</td> <td style="color: red;">0.25</td> <td style="color: red;">0.30</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 障害ありとは、過湿等により地盤状態が悪い又は、転石混じり・固い地盤等により連続した作業が期待できない場合である。スリム型において、岩塊・玉石・埋木等で掘削作業ができない場合又は、断面確保ができない場合は機種変更を考慮すること。</p> <p>(注2) 普通作業員は、掘削後の不陸均し、崩落土砂の排除等のための労務である。</p> <p>(注3) 標準速度 <u>従来型</u> 100m ÷ 1.28 = 78.1m/h、<u>スリム型</u> 100m ÷ 1.67 = 59.9m/h</p> <p>【省略】</p>	バケット区分				従来型		スリム型		平均掘削深 (m)				0.6～	1.2～	0.6～	1.2～	名 称	規 格	単 位	作 業 条 件	1.1	1.5	1.1	1.3	バックホウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) (暗渠排水溝掘削用バケット付) クローラ型 山積0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	h	標 準	1.28	1.54	1.67	2.00	障害あり	1.66	1.99	2.17	2.60	普通作業員		人	標 準	0.18	0.22	0.19	0.23	障害あり	0.23	0.28	0.25	0.30	<p>N～1010 バックホウ掘削</p> <p>1 適用範囲 本資料は、以下の範囲のバックホウによる暗渠排水溝掘削作業に適用する。 従来型バケットの場合：平均掘削深 0.6～1.5m スリム型バケットの場合：平均掘削深 0.6～1.3m 掘削深 1.5mを超える場合は適用できない。 【省略】</p> <p>4 施工歩掛 暗渠排水溝掘削歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4-1 暗渠排水溝掘削歩掛 (100m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">バケット区分</th> <th colspan="2">従来型</th> <th colspan="2">スリム型</th> </tr> <tr> <th colspan="4">平均掘削深 (m)</th> <th>0.6～</th> <th>1.2～</th> <th>0.6～</th> <th>1.2～</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>作 業 条 件</th> <th>1.1</th> <th>1.5</th> <th>1.1</th> <th>1.3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">バックホウ 運 転</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第2次基準値) (暗渠排水溝掘削用バケット付) クローラ型 山積0.45 m³(平積0.35 m³)</td> <td rowspan="2">h</td> <td>標 準</td> <td style="color: red;">1.25</td> <td style="color: red;">1.50</td> <td style="color: red;">1.48</td> <td style="color: red;">1.78</td> </tr> <tr> <td>障害あり</td> <td style="color: red;">1.63</td> <td style="color: red;">1.95</td> <td style="color: red;">1.92</td> <td style="color: red;">2.31</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">普通作業員</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">人</td> <td>標 準</td> <td style="color: red;">0.16</td> <td style="color: red;">0.19</td> <td style="color: red;">0.19</td> <td style="color: red;">0.23</td> </tr> <tr> <td>障害あり</td> <td style="color: red;">0.21</td> <td style="color: red;">0.25</td> <td style="color: red;">0.25</td> <td style="color: red;">0.30</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 障害ありとは、過湿等により地盤状態が悪い又は、転石混じり・固い地盤等により連続した作業が期待できない場合である。スリム型において、岩塊・玉石・埋木等で掘削作業ができない場合又は、断面確保ができない場合は機種変更を考慮すること。</p> <p>(注2) 普通作業員は、掘削後の不陸均し、崩落土砂の排除等のための労務である。</p> <p>(注3) 標準速度 <u>100m ÷ 1.25 = 80m/h</u></p> <p>【省略】</p>	バケット区分				従来型		スリム型		平均掘削深 (m)				0.6～	1.2～	0.6～	1.2～	名 称	規 格	単 位	作 業 条 件	1.1	1.5	1.1	1.3	バックホウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) (暗渠排水溝掘削用バケット付) クローラ型 山積0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	h	標 準	1.25	1.50	1.48	1.78	障害あり	1.63	1.95	1.92	2.31	普通作業員		人	標 準	0.16	0.19	0.19	0.23	障害あり	0.21	0.25	0.25	0.30	<p>表内の、数値の改正</p> <p>字句の追加および数値の改正</p>
バケット区分				従来型		スリム型																																																																																																
平均掘削深 (m)				0.6～	1.2～	0.6～	1.2～																																																																																															
名 称	規 格	単 位	作 業 条 件	1.1	1.5	1.1	1.3																																																																																															
バックホウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) (暗渠排水溝掘削用バケット付) クローラ型 山積0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	h	標 準	1.28	1.54	1.67	2.00																																																																																															
			障害あり	1.66	1.99	2.17	2.60																																																																																															
普通作業員		人	標 準	0.18	0.22	0.19	0.23																																																																																															
			障害あり	0.23	0.28	0.25	0.30																																																																																															
バケット区分				従来型		スリム型																																																																																																
平均掘削深 (m)				0.6～	1.2～	0.6～	1.2～																																																																																															
名 称	規 格	単 位	作 業 条 件	1.1	1.5	1.1	1.3																																																																																															
バックホウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) (暗渠排水溝掘削用バケット付) クローラ型 山積0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	h	標 準	1.25	1.50	1.48	1.78																																																																																															
			障害あり	1.63	1.95	1.92	2.31																																																																																															
普通作業員		人	標 準	0.16	0.19	0.19	0.23																																																																																															
			障害あり	0.21	0.25	0.25	0.30																																																																																															